プロジェクトの基本情報	プロジェクト名称	高知工科大学　国際交流会館新築工事　CM 業務
	所在地	高知県香美市
	完了時期	2013年9月
	種別1(※)	■新築・□改修・□その他(具体的に記載)
	種別2(※)	□住宅建築・■非住宅建築・□土木・□その他(具体的に記載)
CM業務委託者に関する情報	CM業務委託者名	高知県公立大学法人　高知工科大学
	種別(※)	■公共法人・□民間法人・□その他(具体的に記載)
	CM業務委託者の所在地	高知県香美市
応募者に関する情報	応募者(法人)名	株式会社アクア
	種別(※)	■CM専門会社、□設計事務所系、□施工会社系、□その他
	応募者(法人)の所在地	東京都中央区晴海 1-8-8 晴海トリトンスクエア オフィスタワーW 15F
CMR の参画時期(※)	業務契約期間	2011年11月～2013年9月
	■基本計画段階、□基本設計段階、□実施設計段階、□工事発注段階、□工事段階、□完成後	
CMR の選定方法(※)	□特命、■ヒアリング等の審査、□プロポーザル、□総合評価型落札方式、□入札、□その他	
設計と施工の発注形式(※)	■設計・施工分離、□設計施工一貫、□その他	
設計者の選定方法(※)	□特命、□書類審査、■プロポーザル、□設計競技、□総合評価型落札方式、□入札、□その他	
工事の発注区分(※)	□ゼネコン一括、□コスト・オン、■分離、□その他	
請負契約の形式(※)	■総価一式、□コスト+フィー、□単価精算、□その他	
施工者の選定方法(※)	□特命、□見積合わせ、□総合評価型落札方式、■競争入札、□その他	

<プロジェクトの全体(外観)写真を示して下さい>

■プロジェクトの概要

・建物用途　留学生寮と国際交流スペース
・建物規模　建築面積　８３６．７３㎡
　延床面積　２，３９４．７５㎡
・建築構造　鉄筋コンクリート造　地上４階建
　建物の高さ　１４．６２m
・諸室　個室　８４室（博士用個室（１９㎡程度）　３１室／修士用個室（１４㎡程度）　５２室／ハンディキャッパー用個室（２４㎡程度）　１室）
　交流スペース・会議室　１５０㎡
　茶室　５０㎡
　ラウンジ（食事スペース）
　ランドリー　など

遠景

夜景

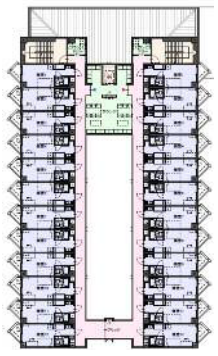
ホール

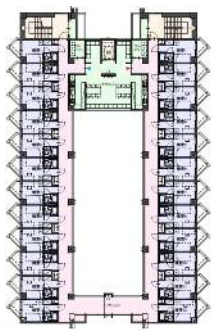
交流室

寮室

食事室

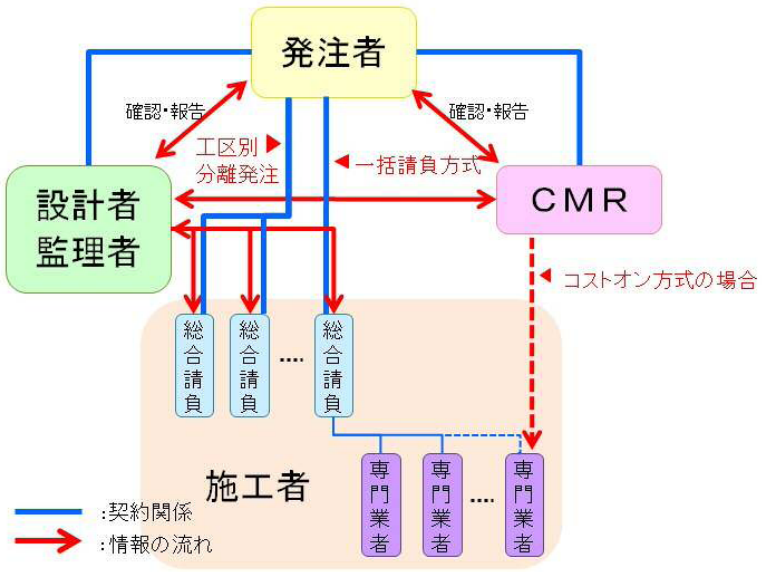
１階平面図


2階平面図

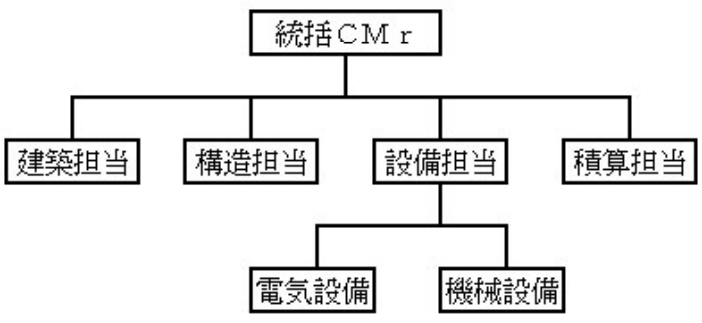

３・4階平面図

■プロジェクトの取り組み体制

・プロジェクトの組織図



・CMチーム体制表



CMチーム内の役割分担

統括CMｒ：発注者・設計者・施工者との協議調整全般およびスケジュール管理
建築担当：　設計プラン・意匠等の合理化提案および工事品質管理確認
構造担当：　構造計画の合理化提案および工事品質管理確認
設備担当：　電気・機械設備の合理化提案および工事品質管理確認
積算担当：　計画建物コストの検証および合理化提案

■プロジェクト目標とその達成度

目標	達成手法	達成度
① 公明正大な業者選定方法の策定	設計者選定作業において ・相違する設計プロポーザル案に対し、CMR自社（第３者）積算を実施し、実現可能なプランへの評価 ・評価結果の数値化を実施 施工者選定において ・県内業者に限定した入札方式の採用	100% 設計者選定作業における ・公平な建設コスト検証 ・アカウンタビリティの確保 県内施工者への発注による県内経済効果波及
② 建物品質の確保	設計段階において ・CMチーム内技術者支援による設計品質の確保。 施工段階において ・専門業者-施工管理者-工事監理者間の施工品質管理帳票表の一体化	建物品質管理における ・トレーサビリティの確保 ・施工品質管理の見える化
③ 事業予算内へのコストコントロール	・相違する設計プロポーザル案に対しCMR自社（第３者）積算を実施 ・早期のコスト検証を元にしたＶＥ提案による事業予算内へのコストコントロール ・工区別分離発注方式の検討とコストシミュレーション	コストにおいては100%以上達成 ・事業予算内でのプロジェクト終結 ・公平なコスト検証 ・コストトレーサビリティの確保 ・入札不落の回避 ・アカウンタビリティの確保
④ タイトなスケジュールへの対応	県内業者に限定した入札方式において ・入札参加候補業者の受注態勢リサーチ ・フレキシブルなスケジュール管理	・入札不調の回避

プロジェクト全体に及んだ効果

・業者選定における公平性・透明性・アカウンタビリティの確保
・CMR協働による設計者・施工者のコスト意識の向上
・コストに対する透明性の確保
・適正なコストコントロールと品質確保
・入札不調の回避
・施工品質管理の　見える化
　トレーサビリティの確保

Construction Management Association of Japan